

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

齒科用不純金の精製方法 (9年特許公告第1857號、公告9-5-16、千葉縣、鈴木博顯) 齒科用不純金を精製するに當り不純金材料を素焼坩堝に入れ前記粉末とせる資料を加へ加熱熔融するとき不純金中の金屬類 (*Ag, Cu, Fe, Pb, Zn, Sn*) に強き酸化劑たる硝酸カリウムに酸化作用を營ましめ同時に硫酸銅硫酸鐵と作用せしめ *Fe, Pb, Zn* 等の全部及 *Ag, Cu* の一部を酸化物となし硼砂と結合せしめて金と分離せしむるものにして此際酸化作用をして充分ならしむる爲め鹽化アモモニウム及鹽化ナトリウムを作用せしめ以て不純金精製の能率を高め簡易なる操作のもとに良質金を得んとする目的を以て適量の硫酸鐵鹽化アモモニウム硫酸銅と夫れ夫れ加熱粉末状となせるものに適量の硼砂硝酸カリウム鹽化ナトリウムを混和加熱し碎粉粉末状となせるものを使用して齒科用不純金を精製する事を特徴とする齒科用不純金の精製方法。

瓦斯含有量檢出裝置 (9年特許公告第1858號、公告9-5-16、東京府、清水莊平) 瓦斯の比熱を計算の基礎とすることにより抵抗體の小なる溫度上昇に於て混合瓦斯の含有量を正確且容易に測定し得べからしめんとする目的を以て電氣抵抗高く且接觸面積を特に大ならしめたる電氣抵抗を配置したる通路の2個を備へ其一方には混有瓦斯を含む被測定氣體を通過すべくし他方には混有瓦斯を含まずして測定の規準となる標準氣體を通過すべくし且此等氣體の速度を緩慢なる一定値に維持する裝置及び前記抵抗體の抵抗を比較する裝置を備へたる瓦斯含有量檢出裝置。

下方給炭機に於ける燃焼用空氣自動調整裝置 (9年特許公告第1859號、公告9-5-16、北米合衆國、アイアン、ファイアマン、マニフアクチュアリング、コムパニー) 燒料と共に送入せらるる空氣流と燃熱室内のドラフトとを自動的に調整して石炭の最も良好なる燃焼状態を得んとする目的を以て燃焼用空氣壓送管内の空氣流に依りて動かさるパイロット・ダムパーの作用に應じて該空氣流に對する抵抗を變化すべき壓入空氣制御用ダムパーと上記燃焼用空氣壓入量の減少に基く燃焼室内壓力の過度の降下に際して初めて開かるパイロット・ダムパーの作用に應じて煙突内の通氣を制限すべきドラフト制御用ダムパーとを具備せる事を特徴とする下方給炭機に於ける燃焼用空氣自動調整裝置。

ニッケルカルボニールの製法 (9年特許公告第1863號、公告9-5-16、獨逸國、イー、ゲー、ファルベンインヅストリー、アクチエンゲゼルシャフト) 極めて有利にニッケルカルボニールを製造せんとする目的を以て一酸化炭素或は一酸化炭素を含有する瓦斯を熔融法にて得られ *Ni* 及硫黄を含有する生成物に加壓の下に於て作用せしむる事を特徴とする *Ni* を含有する原料物質に一酸化炭素或は之を含有する瓦斯を併用せしむる事に依りニッケルカルボニールを得る方法。

鐵材の捲取裝置 (9年特許公告第1880號、公告9-5-16、東京市、岸周之助他2名) 鐵材の捲取及取外しを正確且容易ならしめんとする目的を以て深淺部を有する溝を外周に設けたる廻轉外胴體を數個に分割しその直徑を縮少し得るやう爲し該廻轉外胴體の内部に嵌入し且先端を前記外胴の溝の底部に臨ましめたる突狀部を有する内胴體もその直徑を縮少し得るやう爲し之等内胴體及外胴體を中心位置に設けたる2個の管體の傾斜部に夫々押壓せしめ且つ前記外周なる溝に對應する突狀部を有する轉子を別個の軸に摺動自在に嵌

挿せしめたる鐵材の捲取裝置。

増熱木炭瓦斯發生法 (9年特許公告第1886號、公告9-5-16、川口市、燃料研究所長) 發生爐の瓦斯化熱を利用し氣化室を加熱し該氣化室中に送入せられたる液體燃料を氣化し發生爐内の還元層に噴出せしめ之が酸化するを防止しつゝ加熱せられたる固體燃料の帶域を通過せしめ之を分解し熱量高き永久瓦斯に變じ以て増熱せる發生木炭瓦斯を發生せしめむとする目的を以て木炭瓦斯發生爐の爐壁内に設けたる液體燃料氣化室にて氣化せしめたる燃料蒸氣を爐の還元層に給送することを特徴とする増熱木炭瓦斯發生法。

粒狀、粉狀、泥狀金屬又は其の含有物の電解裝置 (9年特許公告第1924號、公告9-5-18、東京市、三井鐵山株式會社) 従來精煉操作煩雜を極め又は有利に處理し得ざりし各種の粒狀、粉狀、泥狀金屬又は其の含有物より電解操作によりて最廉價に且簡單に純粹金屬又は合金を得且不純物中の有價物を容易に副産物として分離採收し工業的に有利なる操作たらしめんとする目的を以て電解槽中に適當なる電解攪拌裝置を設け全面に多數の棚狀突縁及格子狀孔を有する *Pb* 又は他の電氣導體を陽極とし隔膜を有する陰極函内に吊下せる適當なる電氣導體を陰極とし電解の目的たる粒狀、粉狀、泥狀金屬又は其の含有物を電解液に混合攪拌し陰極に所期の純粹金屬又は合金を析出せしむる電解裝置。

活性炭製造法 (9年特許公告第1832號、公告9-5-14、東京市、藤原竹雄) 此種活性炭の製造に於て其の附活作用を極度に進行せしめ又附活至難の炭素の附活をも容易に行ひ而も操業短時間にして優良なる活性炭を歩留り多く收得する目的を以て乾餾炭化に依りて得たる炭素を高溫度に保持し之に水蒸氣を作用せしめて活性炭を製造する方法に於て耐壓罐内に收容せる炭素に抽氣に依る排氣作用と高壓水蒸氣の導入に依る高壓下の水瓦斯反應とを交互に及ぼしめ而も此兩操作を反覆繰返さしむる事を特徴とする活性炭製造法。

軸承金の摺り合せ方法 (9年特許公告第1836號、公告9-5-14、東京市、松繩信太郎外1名) 簡易の手段により軸承金の摺り合せ作業を極めて短時間に行ひ而も平滑度良好にして摩擦少く製品規格統一にして優良なる軸承金を得る良方法を提供せんとする目的を以て軸承金の軸承面を軸頸と同一又は夫れより大なる外徑を有し且該軸承金の融點以下に加熱せる假軸頸面に壓接しつゝ該軸頸を廻轉することを特徴とする軸承金の摺り合せ方法。

鑄造用回轉鑪 (8年特許公告第1844號、公告9-5-14、東京市、中島統一) 取瓶内の湯を桶内に連続的に注入しつゝ桶内の湯を多數の鑄型に順次に自動的に流入せしむる目的を以て環狀に形成したる回轉鑪の桶底に夫々湯溜を有する多數の流出口を設け鑪を絶えず回轉せしめ各流出口を順次に下向きと爲し桶内に間斷無く取瓶より注入する鑄融金屬を各流出口より順次に流出しせめ多數の鑄型に順次に鑄込み得る如く爲したる鑄造用回轉鑪。

白雲石より耐火性品の製造方法 (9年特許公告第1852號、公告9-5-14、英國、セシル、ステヴンソン、ガーネット) 熔融點高く水和作用に抵抗強く破碎され難く且之を煨焼するも變形を生じ難き特質を有する耐火製品を製造せんとする目的を以て不完全分解を起さしむる程度に白雲石を煨焼し之に磁土及長石等の自然岩石を加へて成形し之を高溫に煨焼し該煨焼物を粉碎し之に油或は *Al* 化合物を膠狀に分散保有せしめたる油を加へて成形し之に最後の高温煨焼を施す事を特徴とする白雲石よりの耐久性物質の製造方法。

鍍金を施すアルミニウムの表面處理方法 (9年特許公告第1926號、公告9-5-21、東京市、合資會社富田製作所) *Al* 製品の表面を蔽へる酸化膜を完全に除去すると共に *Ni* の下地鍍金を施して素地を極めて平滑なる面となし以て表面に施さる各種金屬の鍍金を堅實に而も平滑に鍍着し得べからしめんとする目的を以て *Al* の製品を先づ炭酸曹達との熱溶液により處理して後稀硫酸にて處理

し續て水洗乾燥する工程と次にバフ研磨機にて研磨を行ひて再び前記の工程を反復する工程と前記工程を経たるものを硫酸ニッケル硫酸曹達、鹽化ニッケル硼酸及水よりなる混合溶液中にて電氣化學的陽極處理を行ふ工程と續いて電流を遮断して上記溶液中にてニッケル鍍金を施す工程との結合より成る鍍金を施す Al の表面處理方法。

軟鋼製鏈鎖の伸長性低減加工法 (9 年特許公告第 1936 號、公告 9-5-21、大阪市、向 清) 軟鋼製鏈鎖の強度を向上し併せて伸長性を低減し以て使用に際し常に正確なる動作を遂行し得られしむる目的を以て C 含有量 0.12 乃至 0.25% の軟鋼を以て作成せる鏈鎖を 650 乃至 750°C に加熱して冷水中に挿入急冷せしめ次に 17 乃至 25°C に加熱して油中に挿入冷却せしむることを特徴とする軟鋼製鏈鎖の伸長性低減加工法。

マグネシウム合金の防錆皮膜生成方法 (9 年特許公告第 1943 號、公告 9-5-21、東京市、合資會社宮田製作所) Mg 合金自體に硬質堅牢なる防錆皮膜を生成せしめんとする目的を以て清淨ならしめたる Mg 合金を Cr 酸に少量の硼酸及硫酸を混合したる其の水溶液中にて電氣化學的陽極處理を行ふことを特徴とする Mg の防錆皮膜生成方法。

アルミニウム、ニッケル及クロームを含有する磁石鋼 (9 年特許公告第 1945 號、公告 9-5-21、東京市、三島徳七) 磁性加工性及防蝕性優秀なる磁石鋼を供する目的を以て Al 1 乃至 20%、Ni 5 乃至 40%、Cr 1 乃至 4.99%、C 1.0% 以下、殘部 Fe 及不純物を含有することを特徴とする磁石鋼。

石炭と油とより成る安定燃料 (9 年特許公告第 1994 號、公告 9-5-23、英國、ゼ、キユナード、ステイームシップ、コンパニー、リミテッド) 實際的に無限の安定度を有すると共に殆ど特殊なる經費を要せざる安定燃料を得んとする目的を以て油中に微粉末とせる石炭を分散懸垂せしめて成る液體燃料に於て石炭を膠質粒子よりは大粒にして而かも 1 c.m. 直線内に 70 或は 80 格子を有する篩目を全部通過し得る程度の粉末となす事油は固定炭素を約 6% 或は其以上含有する分列油或は炭化水素の混合物を使用し其の際之に安定劑を加ふることなして製造する事の特徴とする石炭と油とより成る安定燃料。

鑄造用搖動樋 (9 年特許公告第 1997 號、公告 9-5-25、東京市、中島統一) 取瓶内の湯を全部靜に連續的に多數の鑄型内に流入せしめ鑄造操作を簡易迅速ならしむる目的を以て中央部に淺き湯溜を設け前後に多數の流出嘴を列設したる樋の左右に角形の水平桿を突設し之を中央部に支點を有する槓桿の一端にて支持し該槓桿の他端を前後に搖動せしむることに依りて前後の流出嘴を交互に傾斜せしめ且つ進退せしめ取瓶より斷えず樋内に注入する鎔融金屬を前後の鑄型内に交互に流入せしめ得べく爲したる鑄造用搖動樋。

遠心力利用の連續鑄造裝置 (9 年特許公告第 2006 號、公告 9-5-25、東京市、中島統一) 多數の鑄型を順次に使用し鑄造に要する時間、經費及勞力を節減し生産費を低下せしむる目的を以て間歇的に回動せしむる如く爲したる回動體に多數の回轉鑄型を回動體の軸に平行に且つ偏心的に列設し一回轉鑄型が其の回轉位置に来ると同時に回動體を該位置に於て停止せしめ該回動體の軸の一端に固定したる回動樋を介して回轉中の鑄型内に取瓶内の鎔融金屬を連續的に流入すべく爲したることを特徴とする遠心力利用の連續鑄造裝置。

アルミニウム合金 (9 年特許公告第 2027 號、公告 9-5-25、東京市、古河電氣工業株式會社) 強靱にして且耐蝕性良好なる Al 合金を得んとする目的を以て Mg 2% 乃至 9% と Mn 0.01% 乃至 2% と Ti 0.01 乃至 0.3% と少量の不純物とを含有する Al 合金。

衝撃振れ試験裝置 (9 年特許公告第 2027 號、公告 9-5-25、仙臺市、市原通敏) 大にして一定の迂り速度の下に變形する材料の歪對應打的關係を正確に得んとする目的を以て一端には迴轉計を設け他端には引金を引くことに依り齒が突出し他の連結器の齒に齧合すべき連結器を有し且つ稍中央に勢輪及受動調車を設けたる迴轉軸を軸架し之を電動機にて高速度に迴轉すべくなし又前記迴轉軸の同一中心線上には一端に試験片を取着くべきチャックを有し他端に前記迴轉軸の連結器に齧合すべき連結器を有し尙稍中央部にブローマインド紙を定着せる迴轉軸を軸架せしめ更に先端に試験片を取着くべきチャック及金屬製平面鏡を有し且つ自己振動數 800 サイクル以上

を有する振れバネを設け尙バネの下方には 3 個の光源を設け其の上方には風車型タイムマーカ―及平面鏡 2 個を具へしめ更に振れバネの上方には乾板と平面鏡とを設置し依て以て迴轉軸の勢力を利用し衝擊的に試験片を振れ切り其の際試験片の振れ對抵抗モーメント圖を振れバネの振れを利用し寫眞裝置に直接紙上に描かしむる如く構成したることを特徴とする衝擊振り試験裝置。

アルミニウム輕合金 (9 年特許公告第 2072 號、公告 9-5-30、京都市、化學研究所長) 燒戻硬化能並に自然時硬化能著しき輕合金材料を得んとする目的を以て Co 0.01~5%、Cu 0.01~5%、Mn 0.01~5%、Mg 0.1~13%、Zn 1~30%、殘部 Al 及之等の不純物を含有する Al 輕合金。

鑄型製造法 (9 年特許公告第 2089 號、公告 9-5-30、島根縣、渡邊貞吉) 繁雜なる手數と熟練せる技巧とを要することなく單純なる操作の反復により極めて簡易迅速に多數の鑄型を製造し以て製造能率を増進し生産費の節減を計り得べき理想的方法を得んとする目的を以て上面兩側の對稱位置に當る線上に多數の半形模型を並列して固定し且其の一方の模型列間のみ湯道型を附したる模型板を臺盤上に定着し該臺盤上に鑄型枠を載置し之に鑄砂を填充して轉倒せしめ模型板を取除きて下型を形成し次に之と同様の操作を反復して前に作れる該下型と全然同型の上型を形成し兩者を上下相重合せしめたる後上下鑄型枠を取外し茲に上下湯道の相連絡したる一の完全鑄型を得ることを特徴とする鑄型製造法。

マグネシウム又は合金の防蝕方法 (9 年特許公告第 2105 號、公告 9-6-1、東京市、古河電氣工業株式會社) 優秀なる耐蝕性を保たしめんとする目的を以て Se の化合物を含む酸性水溶液を Mg 又は其合金に接觸せしめ其の表面に Se を鍍着せしめたる後之をアルカリ性水溶液中に於て適當時間加熱する Mg 又は其合金の防蝕方法。

鑄目切機械の改良 (9 年特許公告第 2117 號、公告 9-6-1、東京市、宮野利盛) 鑄素地の形狀に適當なる粗密目立をなし優秀なる鑄を能率的に製造せんとする目的を以て鑿が毎分時一定の回數を以て昇降する鑄目切機械に於て鑄材保持用復臺に取着けたる道軌又は鑄材に昇降部材を壓接し原動軸及前記往復臺の驅動機械に夫々連結せしめて相對立せる傳動用圖盤間に設置せるローラーを前記往復臺の進行中昇降材の上下運動に應じて傾動せしむる如くなし以て兩圖盤の軸の速比を變化せしむる如くなししたる鑄目切機械。

亞硫化銅の電子的結合體製造法 (9 年特許公告第 2134 號、公告 9-6-1、東京市、梯 道雄) 熱發電器並に整流器等の如き電子運動を利用せる電氣機具の基本體を得る目的を以て 300 乃至 1,500°C の溫度に於ける硫化第 1 銅の粘着性を利用して之を他の導體に密着せしむる整流器並に熱發電器の基本となる結合體製造方法。

布目象嵌法 (9 年特許公告第 2135 號、公告 9-6-1、神戸市、森田熾) 高價なる Au 使用量を著しく節減し而も外觀は從來の布目象嵌品と同一のものを廉價にて製せんとする目的を以て Au 又は金合金板の一面に Ag 又は銀合金を重合接着し所要厚みの薄葉板となしたるものを以て製せる象嵌體の Au 又は銀合金面を下地金屬の布目に嵌入せしむる布目象嵌法。

熔融鉛鍍金方法 (9 年特許公告第 2063 號、公告 9-5-28、東京市、清水音司) 熔融を容易確實に鍍金し得る簡易なる方法を得んとする目的を以て鹽化アンモニウムとコバルト鹽を加へて成る水溶液中に被鍍金材料を浸漬しイオンの電離作用により該被鍍金材料面に Co を接着せしめ後之を熔融中に浸漬すべくせることを特徴とする熔融 Pb 鍍金方法。

特許拔萃

| 特許番號 | 名稱 | 特許權者 | 公告拔萃本誌記載番號 |
|--------|--------------|-----------|-------------|
| 105682 | 煉炭の製造法 | 山村文治外一名 | |
| 105704 | 銅合金 | 三菱造船株式會社 | 第 20 年 2 號 |
| 105714 | 金代用合金 | 安藤興七郎 | 第 19 年 10 號 |
| 105725 | 金ペン用合金 | 株式會社並木製作所 | 第 20 年 2 號 |
| 105743 | 熔融鉛鍍金方法 | 兩澤工業合資會社 | 第 19 年 12 號 |
| 105808 | 熔接用電極 | 株式會社芝浦製作所 | 第 20 年 2 號 |
| 105315 | 炭素燒鋼の製造方法 | 株式會社日立製作所 | 第 20 年 2 號 |
| 105887 | クローム鋼質物體製造方法 | 天辻光次郎 | 第 19 年 12 號 |